



コンパクトで柔らかいラインのポロシャツで、  
 カジュアルすぎないやさしい雰囲気です。  
 ニット専用パターンです。  
 ニット素材は一般的なスムーズや天竺などが向いています。  
 カジュアルなポロシャツにある鹿の子など固めの素材は  
 脱ぎ着がすこしにくくなるかもしれません。  
 パターンは、はぎ合わせてからお使いください。

寸法、用尺について

(パターン上の寸法になります)

サイズ	着丈	背肩幅	バスト	袖丈 (半袖)
90	35.3cm	24.0cm	57.0cm	10.0cm
100	38.2cm	26.0cm	60.0cm	11.0cm
110	41.2cm	28.0cm	64.0cm	12.5cm
120	44.2cm	30.0cm	68.0cm	14.0cm
130	47.3cm	31.5cm	72.0cm	15.5cm

用尺は目安です。柄あわせ等により、  
 必要な用尺は変わる場合がございます。  
 また生地用の尺は「有効生地巾」で  
 計算しています。有効生地巾とは、  
 ミミなど除いた生地として使える部分の  
 生地幅のことです。

芯地、伸び止めテープとも、  
 やわらかく、張りのない薄いタイプが  
 適しています。(表にできるだけ響かせないため)

用尺と付属について

用尺	生地(ニット)		芯地	10mm巾 伸び止め テープ	ボタン 10mm
	140cm巾 以上	110cm~ 140cm			
90	0.5m	0.7m	0.2m	0.6m	2個
100	0.5m	0.8m	0.2m	0.6m	2個
110	0.6m	0.8m	0.2m	0.7m	2個
120	1.0m	1.0m	0.2m	0.7m	2個
130	1.0m	1.0m	0.2m	0.7m	2個

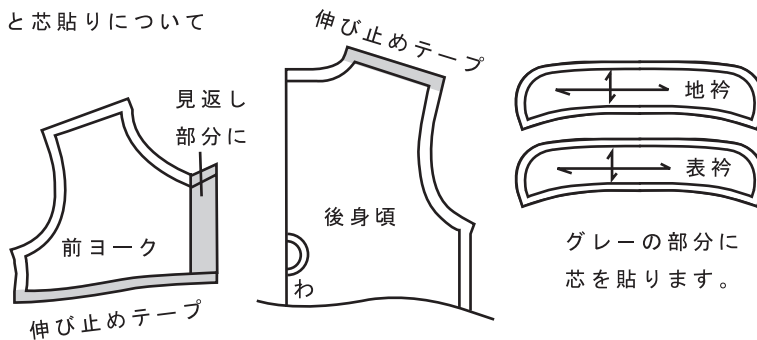
裁断枚数は

- 前身頃 1枚
- 後身頃 1枚
- 前ヨーク 2枚
- 袖 2枚
- 表衿 1枚
- 地衿 1枚

合計 6 パーツ 8 枚

テンションの高い生地の場合、  
 表衿にも芯を貼った方が  
 縫いやすくなりますが、  
 できるだけ貼らない方が  
 衿がやわらかく仕上がります。

■裁断と芯貼りについて



表衿と地衿はタテ横の地の目は  
 どちらでもかまいません。  
 生地柄に合わせてください。  
 ただし、どちらか一方に  
 統一してください。

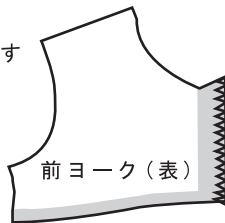
■表衿と地衿

大ききの違う衿が  
2つあります。  
表衿から地衿が  
見えないよう  
パターンで操作して  
いるためです。  
大きい方が表衿です。



縫製手順 1 ヨークと身頃

①前ヨークの見返し部分を  
ロック（ジグザグ）始末します



②肩を縫い合わせます

地縫い+ロック（ジグザグ）  
もしくは4本糸  
オーバーロックで、  
後身頃と前ヨークの肩を  
中表で縫い合わせます。

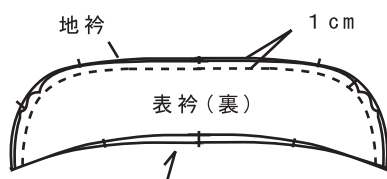


縫い代は  
後身頃側に  
倒します。

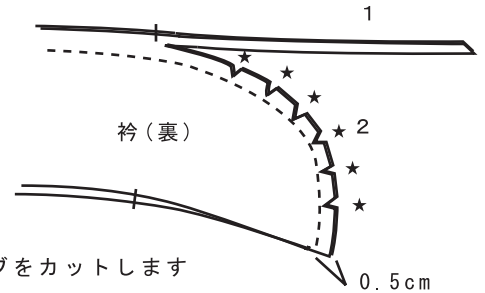
衿を作ります

表衿と地衿を中表にして、縫い代の端を  
きちんと揃うように合わせ、衿外回りを  
ぐるりと縫い合わせていきます。

中表に合わせる時、地衿を伸ばさないように、  
表衿（大きい方）を地衿（小さい方）に  
合わせるようにして、タックにならない  
程度に生地を寄せます。



衿つけ側（身頃につく方）は  
縫いません。

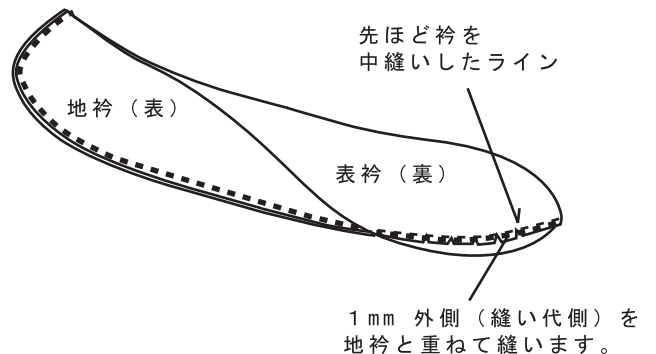


次に衿のカーブをカットします  
縫い代を0.5cm巾になるように  
今縫ったところの縫い代をカットします(1)

カーブの強い箇所は、1cm位の間隔で  
直線に近いところは2cm位の間隔で、  
切り込みを入れておきます(2)  
この時、★の箇所はV字形に切り込みます。  
こうする事で縫い代を倒した際に  
縫い代の重なりがなく、綺麗に仕上がります。

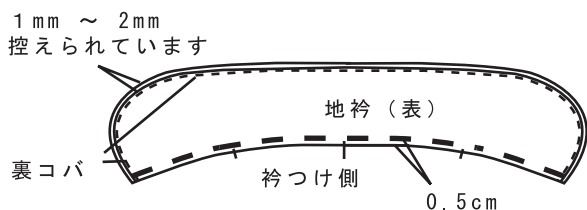
■裏コバ（ステッチ）

次の工程は『表にステッチを入れたいけれど、  
衿がパカパカしないように落ち着かせたい』  
というような時に『裏コバ（ステッチ）』  
というテクニックを使う方法です。  
あまりカジュアルに仕上げたくない時に使います。  
縫い方の勉強にもなりますので、  
チャレンジをオススメします。  
表から縫い代が見えても良い（見せたい）場合は、  
衿をアイロンで整え、衿まわりに普通にステッチを入れます。



裏側から衿を広げて、  
縫い代を地衿側に倒しながら、  
衿を中縫いした縫い目の外側を、  
縫い代2枚と地衿、計3枚重ねて  
縫い代をとめつけるように縫います。  
ぐるっと裏コバします。

衿を表に戻し、アイロンで整えます。  
表衿の方が少し大きいため、地衿側から見ると、  
1～2mm、表衿が見える状態になります。  
これが正しい状態なので、このまま  
アイロンで押さえてください。



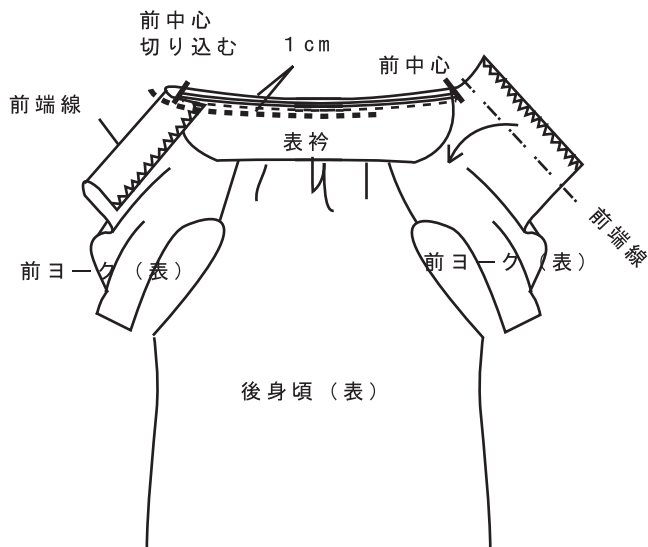
衿が整えられたら、今度は衿つけ側の合印を  
きちんとあわせ、端から 0.5cm のところを、  
仮止めミシンでとめておきます。  
この時、生地を伸ばさないように注意してください。

### 3 衿と身頃を縫い合わせます

身頃の表側を上にして、表衿を上にした衿を、  
衿ぐりをあわせて重ねます。  
衿端は前中心に来るようにし

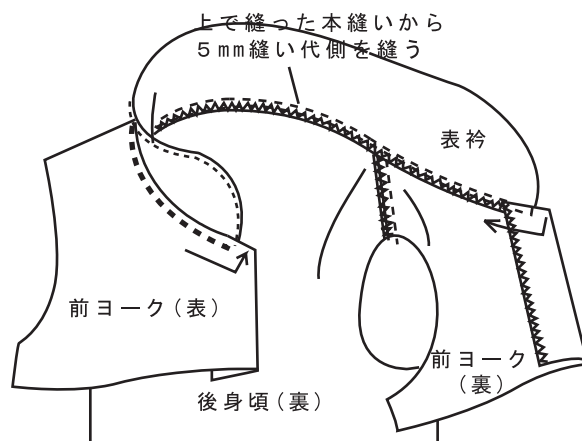
見返し部分で挟み込むようにして 縫い代 1cm で  
衿つけ線を縫います。前中心の縫い代部分に  
ミシン目ギリギリまで切り込みを入れます。

切り込むのは身頃と見返しだけです。  
衿を切ってしまうないように  
充分注意してください。



次に、衿ぐり縫い代を 3mm 位カットしながら、  
縫い代をロック始末します。

(結果、縫い代巾が 7mm 位になります)  
ジグザグ処理の場合は、先にハサミでカットしてから  
ジグザグミシンをかけてください。

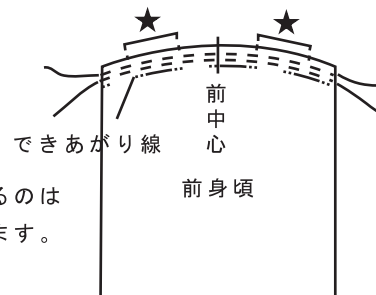


見返しを表に戻して衿つけ部分をアイロンで整え  
衿つけの縫い代を身頃に縫いとめます。  
衿つけミシンの外側 (縫い代側) 5mm のところを  
上図のように前中心から始まり、反対側の前中心まで、  
身頃まで通してミシンをかけます。

### 4 前身頃にギャザーをいれます

できあがり線から  
2mm 外側に 1 本、更に  
5mm 外側にもう 1 本、  
計 2 本入れます。

実際にギャザーを寄せるのは  
★印の部分のみになります。

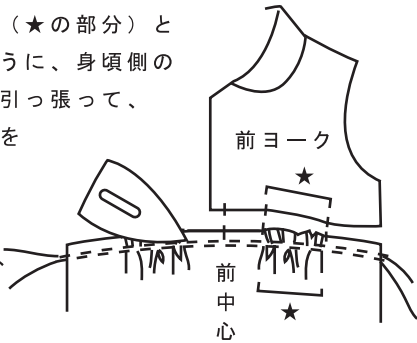


#### なぜ縫い代の中にギャザーを寄せるの？

ギャザーを出来上がりの内側に入れると表から  
見えるので糸を抜かなくてはならず、  
またその際生地に針穴が残ってしまうため、  
ギャザーを寄せた糸は、場合により、  
生地を落ち着かせるために抜かずに  
残しておきたい場合が多いため、縫い代に  
ギャザーを寄せる指示になります。  
ただしこれはテキストにより、また  
状況によってまちまちです。

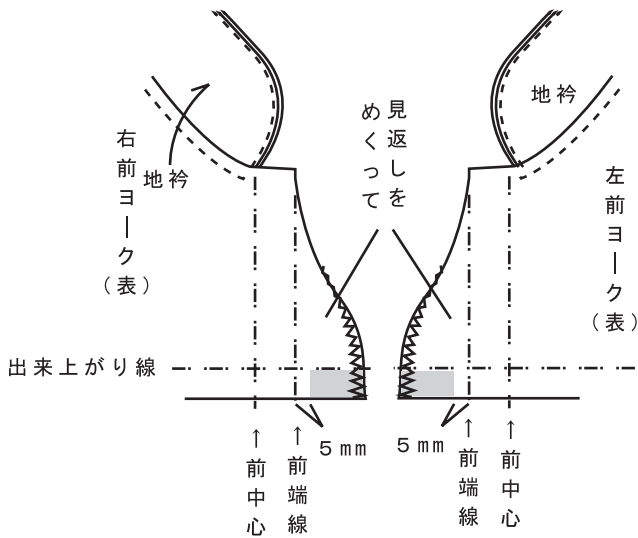
前ヨークの合印間（★の部分）と同じ長さになるように、身頃側のギャザーミシンを引っ張って、左右ともギャザーを寄せます。

縫い代にのみアイロンをあてて、ギャザーを定着させます。

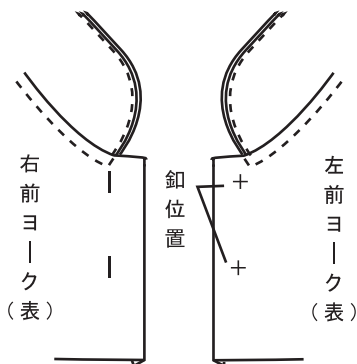


5 ヨークと前身頃を縫い合わせます

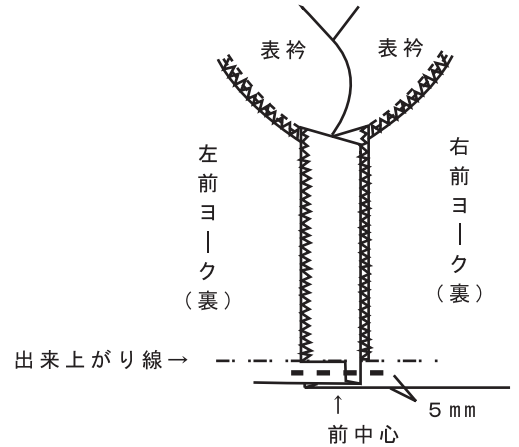
まず前ヨークの、前合わせ部分（前中心で重なる部分）の縫い代をカットします。（■部分）これは身頃と縫い合わせた時に、生地が厚くなるのを防ぐためです。



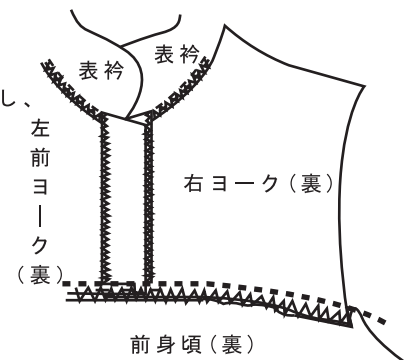
右前ヨークにボタンホールを開けます。



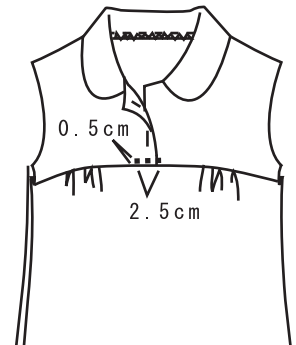
前ヨークを出来上がりが右上前（右身頃が上）になるよう前中心で合わせます。ずれないように、縫い代の端から5mmのところ仮止めミシンをします。



前ヨークと前身頃を中表で合わせ、出来上がり線を本縫いし、端をロックで始末。（または4本糸オーバーロック）縫い代はヨーク側に倒します。

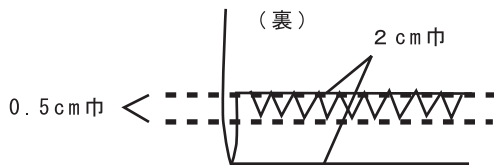


今縫ったヨーク切り替えの縫い代を上（ヨーク側）に倒した状態で、前明き部分に、表からステッチを入れます。これは、裏の縫い代をとめる役割をします。切り替え線から上 0.5cmのところ、巾 2.5cm で入れます。



6 袖口始末をします

縫い代端をロック（ジグザグ）してから、下の図のように縫い上げます。

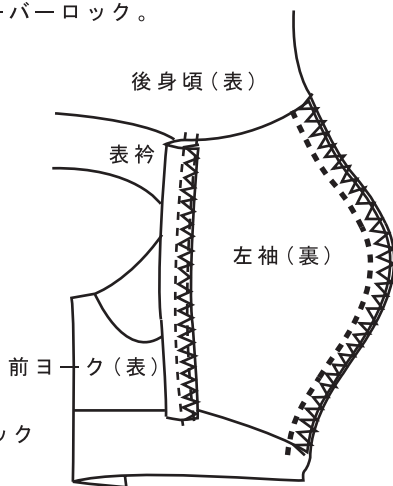


裾や袖口始末の時、表側からステッチを入れると縫い伸びが少なくきれいに仕上がります。

7 袖付け

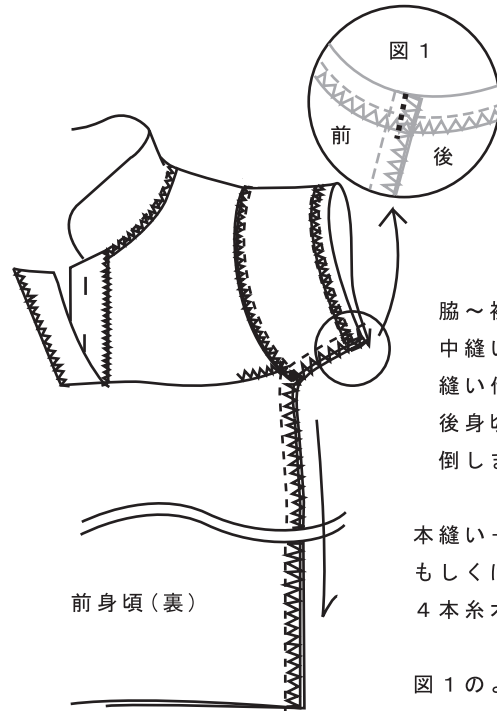
身頃と袖を中表に合わせ、合い印を合わせながら縫い合わせていきます。本縫い+ロック（ジグザグ）もしくは4本糸オーバーロック。

縫い代は袖側に倒します。



仕上がりの見た目は、身頃側を上にしてロックする方が綺麗ですが袖側が上の方がミシンはかけやすいです。

8 袖下～脇を縫います

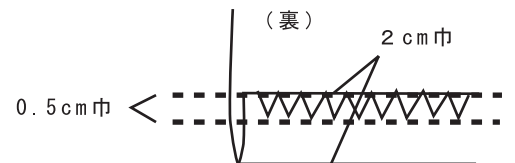


脇～裾までを中縫いし、縫い代は後身頃側に倒します。

本縫い+ロック  
もしくは  
4本糸オーバーロック

図1のように、袖口の縫い代を後ろに倒し止めミシンを入れます。

9 裾始末・ボタン付け



縫い代端をロック（ジグザグ）してから、下の図のように縫い上げます。

左脇からスタート、はじめと終わりは2 cmほど縫い目を重ねます。

ボタン付け位置にボタンを付けたら完成です。